



## ～性に関する指導を実施しました（報告）～

令和6年11月11日（月）下記の内容で学級活動の時間に性に関する指導を実施しました。

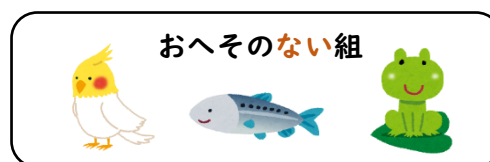
性に関する指導の実施にあたり、事前アンケートに御協力いただき、ありがとうございました。今回の授業で不思議に思ったことや、感動したことなど、おうちでもお子さんの口から話題が出るかも知れません。そのときはどうぞ、お子さんが生まれたときのことを振り返りながら、そのときの様子や思いなどを話してあげてください。

今後も、発達段階に応じて、指導内容を吟味し性に関する指導を進めていく予定です。

養護教諭 吉原 冴也香

### 学習のめあて おへそのひみつ

#### 1 人間を含む、以下の動物におへそがあるのか、ないのか、考えて分けてもらいました。



「おへそのある組」と「おへそのない組」には、生まれ方に違いがあることを確認しました。「おへそのある組」は、お母さんのお腹の中で育ち、生まれてくること、「なし組」は、卵の中で育ち、卵から生まれてくることです。

#### 2 事前アンケートの結果から、児童の考えるおへその役割等の予想について掲示しました。

##### (1) おへそは、なんのためにあるか。

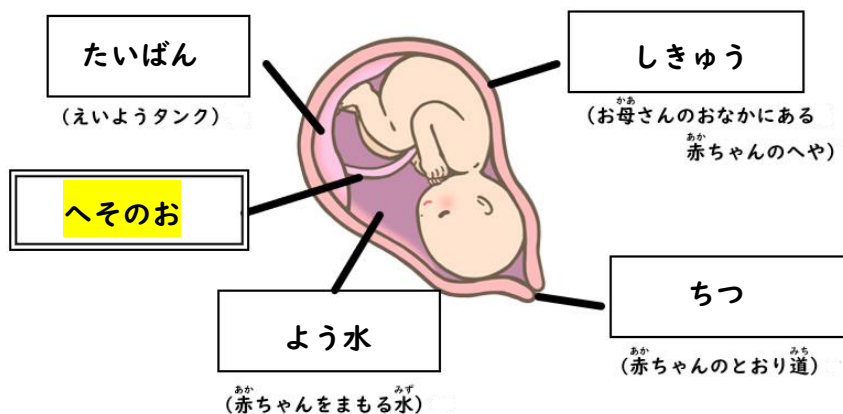
**児童の予想** 赤ちゃんとお母さんをつなげている、赤ちゃんが生きるため、栄養をもらうため、空気を入れている、ばい菌を入れないため、おなかがへっこまないため等

##### (2) 赤ちゃんは、どこから生まれてくるのか。

**児童の予想** おなかから、おしりから、おへそから

#### 3 おへその働きについて、児童が理解しやすいよう掲示資料や模型を使いながら説明をしました。

##### (1) 母体内のおおよその仕組みについて



(2) ヘその緒の働き

ヘその緒を通して、お母さんから生きるために必要な酸素・栄養・病気とたたかう力をもっている。また、赤ちゃんから出た、いらぬもの（二酸化炭素や老廃物等）も、ヘその緒を通してお母さんに返している。

いわば、ヘその緒は、お腹の中の赤ちゃんにとって『命の綱』であることを確認しました。

(3) ヘその緒を切ったあとがおへそであること

赤ちゃんは、生まれたら、外の空気を自分で吸ったりおっぱいやミルクを飲むため、もうおへそは必要ない。ヘその緒を切って乾いてとれたあとが、おへそである。

4 自分がお母さんのお腹の中にいたときや、生まれたとき、おうちの人の気持ちについて、事前アンケートの〈おうちの人にインタビューしよう。〉の結果から、掲示資料を使って児童に伝えました。



他にも、「奇跡だと思った。」「大事に育てたい。」「言葉が出ないほど感動した。」等のおうちの人からのメッセージがあったことを伝えました。

児童の皆さんが、おうちの人からの愛情を受けて生まれてきたこと、育てられてきたことに気付いてもらえるよう、お話をしました。

一人一人の命がかけがえのない、大切なものであること、

自分の命だけでなく、お友達の命も大切なのだということを伝えました。

じぶん たいせつ  
自分を大切に

とも たいせつ  
お友だちも大切に

5 授業から分かったことや思ったこと、学習後の気持ち等を記入して発表してもらいました。

児童の感想

- おへその大切さやひみつがたくさん分かった。
- おへそは、大事だなんて分かった。
- お母さんのお腹には、いっぱいひみつがあることをはじめて知った。
- 家族が私を見たとき、かわいいなあと思ってもらえてうれしかった。
- 私たちを大切にしてくれているんだなと思った。
- 自分のことも友だちのことも大事にしないといけないと思った。等